

深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書

第三集

護供養畧作法事 成賢 古書多利也
 私云此作法隨所用書寫真言陀羅尼等
 爲護供養作法也於此可直兩撮急用時不
 修供養法唯今作法分可有開眼供養也一應
 勤時修供養良法可開眼供養也供養法主
 神分所今可用作法通用不動法可修之別
 用其所用尊法可修也兩撮共開眼作法可用之
 開眼作法者三礼如來明後衣白前取香三
 新被書寫供養種子真言寺爲奉回重

西部習合灌頂次第 何開梨

先入神力如壇再拜 取幣拜
 頌曰謹上再拜、八相成道結緣始
 和光同塵利物終
 次登床 先盥弊本取而後登

修驗身心義針卷上 海浦長鏡編述
 第一己心佛工章
 修驗身心ト者何ソヤ曰一切衆生無異如リ自心ヲ知
 實如リ自身ノ實相ニ安住シテ虚妄顛倒ノ爲ニ
 動轉セラレサルヲ謂フナリ所謂自心ノ本性トハ識大
 心ナリ自身ノ實相トハ地水火風空ノ五大ナリ此五大
 ヲ體性トス也形無礙德輪圓ノ妙用ニシテ本末空
 寂不変不動ナリ且體妙ナルカ故ニ如圓也虚妄ナリ
 虚妄ヲ改ニ知覺ナリ衆生具足箇々田成諸佛
 衆生ノ本原ニシテ然モ亦諸佛ノ用ニ指入スル所ノ法
 ナリ火ニ入テモ燒ケズ水ニ入テモ溺レズユエモ朽テガル

法蔵 撰

華嚴一乘教分記卷中
 義理分齊第九有四門
 三性同異義一 六義為目緣起二
 十玄緣起無礙法三 六相圓融義四
 三性同異義第一
 三性同異說有二門先別明後摠說別中亦
 二先直說後決擇前中三性各有二義真中

深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書

第三集

護供養畧作法事 成賢 古書目録抄
 私云此作法隨所用書寫其言院羅尼等
 爲護供養作法也於此可直兩撮急用時不
 修供養法唯今作法分可有開眼供養也一應
 懇時修供養良法可開眼供養常供養法主
 神分所今可用作法通用不動法可修之別
 用其所用尊法可修也兩撮共開眼作法可用之
 開眼作法者三礼如來唱後衣白前取香品全
 新被書寫供養其種子真言寺爲奉回重

西部習合灌頂次第

阿闍梨

先入神力如壇再拜

取幣拜

頌曰謹上再拜、八相成道結緣始

和光同塵利物終

次登二床 先置幣本取而後登

修驗安心義新卷上 海浦義鏡編述
 第一己心佛工章
 修驗安心ト者何ソヤ曰一切衆生每身ノ如リ自心ヲ知
 實ノ如リ自身ノ每身相ニ寄任シテ虚妄顛倒ノ為ニ
 動轉ヒラレサルヲ謂フナリ所謂自心ノ本性トハ識大
 因ナリ自身ノ每身相トハ地水火風空ノ五大ナリ此ニ大
 ヲ體性トス也形無礙德輪圓ノ妙用ニシテ本未空
 寂不変不動ナリ其體妙ナルカ故ニ知圓也虚妄トリ
 虚靈ヲカ改ニ知覺ナリ衆生具足箇々田成諸佛
 衆生ノ本原ニシテ然モ亦諸佛ノ用ヲ陪入スル所ノ法
 ナリ火ニ入テモ燒ケズ水ニ入テモ溺レズエニモ朽テガル

法蔵撰

華嚴一乘教分記卷中

義理分齊第九有四門

三性同異義一

六義為目緣起二

十玄緣起無礙法三

六相圓融義四

三性同異義第一

三性同異說有二門先別明後摠說別中亦

二先直說後決擇前中三性各有二義真中

深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書 第三集

発行日 二〇二二年二月五日

監修 原 克昭

著者 深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト

尾崎名津子・原 克昭・渡辺麻里子

発行者 弘前大学人文社会科学部

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト

〒〇三六―八五六〇

青森県弘前市文京町一番地

印刷・製本 (有) 小野印刷所

〒〇三六―八一七三

青森県弘前市富田町五二

- ・この報告書は、令和二年度公益財団法人青森学術文化振興財団の助成を受けて刊行しています。
- ・報告書の一部または全部を、著作権者の許可なしに、複製・転載することを禁じます。



深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書